

情報科 指導案

1 日時 6月13日火曜日 6限目

2 場所

3 学年 高校1年3組

4 単元名 情報デザイン

5 単元の目標

- ・情報デザインの目的や具体化するまでの手順について理解する。
- ・情報デザインの変遷を踏まえて表現と需要の変化を捉えることで、問題の発見・解決に向けて情報デザインを適切に活用する力を身に付ける。
- ・情報デザインに着目して、目的や状況に沿って受け手に分かりやすい情報伝達方法を学び、次の事項を身に着けることができるようになる。(学習指導要領第10節 第1情報I 2内容 (2) コミュニケーションと情報デザイン ア) 目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して 問題を発見・解決する方法について考えること。
イ) 情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解すること。 ウ) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や、方法を理解し表現する技能を身に付けること。

6 単元の評価基準

知識・技能【I】	思考・判断・表現【II】	主体的に学習に取り組む態度【III】
・情報デザインについて理解できている。(イ) ・情報デザインの重要性や果たす役割を理解できている。(イ)	・情報デザインの表現方法と需要の変化を捉えることが出来ている。(ア) ・情報デザインに関する課題と活用について考えることが出来ている。(イ)	・国際社会における情報デザイン及び考え方を学んだうえで、ほかの生徒と共有することにより相互理解を図っている。(ウ) ・ほかの生徒の意見を聞き入れ、情報デザインについて振り返ることが出来ている。

7 教材観

使用教科書は、『高等学校 情報I』坂村健著 数研出版 第二章2節「情報デザイン」を単元区分において使用する。

本教科書は、メディアだけでなく情報をもつ特性や情報社会に関する内容など幅広く情報について学ぶのには最適な教材である。しかし、全体的に項目毎の内容は満遍なく当たり障りのない内容なため、ある特定の項目について深い学びを望む場合は参考資料や他の教材をプリントする等が必要である。また、図式イラストや例題が多いため視覚的に内容が理解でき且つ具体例によって生徒の表現力が高められる教材であるため、本教材を教科書として用いる。

それだけでなく、オリンピックのピクトグラムや道路標識等のピクトグラムを複数提示することによって、身近な題材であると同時に改めてピクトグラムの存在意義と構成要素について考える。

8 指導観

「情報デザイン」について理解を深めるため、本授業では教科書にも記載がある“ピクトグラム”の図や絵を用いて具体例を示しながら説明をする。日常生活で当たり前目にしているピクトグラムから目的によって変化を遂げたピクトグラム等、分かりやすい形表現だけでなく色にも着目することによって、言葉を使わない情報伝達方法について理解を深める。

そして、情報デザインの簡潔性や明確性を理解した後、班に分かれ“礼拝”と“学校”についてのオリジナルピクトグラムを考案するグループワークを行う。描いたピクトグラムをグループ内でクイズという形で共有することによって“相手に情報が伝わるデザイン”について振り返る。

9 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・身近な情報デザインについての理解を深め、特性を踏まえたうえで自ら考えることができる

(2) 本時の評価基準

- ① 観点【Ⅰ】情報デザインについて理解出来ている。
- ② 観点【Ⅱ】例示されるピクトグラムを通して簡略性や色の使い方について捉えることが出来ている。
- ③ 観点【Ⅲ】それぞれの特性の活用と問題点を自ら考えだし、意見の再検討が出来ている。

(3) 学習過程

本時の目標：情報デザインを理解してオリジナルピクトグラムを考えよう

	学習内容	予想される生徒の反応・留	評価基準
--	------	--------------	------

	活動	意点	
導入 (5分)	本時の授業のねらいとながれを説明する。	授業の認識を教師と生徒間で共有する。 本時の目標は板書で白板に残す	・授業内容の理解 【I】【II】
展開1 (15分)	情報デザインについて説明して、その内の一種であるピクトグラムについて説明する。 情報デザインのピクトグラムについて、複数の事例を通して日本人だけでなく外国人にも分かりやすいピクトグラムが広まっていることを伝える。 ピクトグラムの構成要素の一つである色数や色に意味があることを説明する。	・見たことあるピクトグラムにも見たことがないピクトグラムに対しても、伝えたい情報やそれを的確に伝えるための表現方法について考える。 ・説明だけでなく、各々のピクトグラムに対して、生徒の認知度や思考が図れるように定期的な問いかけを挟むようにする。	・授業内容の理解 【I】【II】 ・思考・発言をする態度が見られるか 【III】
展開2 (25分) ① 10分 ② 15分	ピクトグラムという情報デザインを形成する構成要素を理解し、オリジナルのピクトグラム案を個人で考えて描く。 ①「礼拝」という指定された情報に対するオリジナルピクトグラム案 ②「学校」という指定されたテーマのもと、伝えたい情報を自分で考えて、伝わりやすい情報デザインを考案する 各個人が考えた案を①では隣近所の座席の生徒と	①同じ情報を伝えるピクトグラムでも、書き手が異なるとデザインの表現が異なると思うため、互いが考えたピクトグラムについて違いと共通点について話し合う。 ②自身が描いたピクトグラムをグループに当ててもらったクイズ形式を取ること で、伝わりやすい情報デザインが描けているか・どこが分かりやすくどこが分かりにくいのかを第三者の意見を取り入れながら、理解をしていく。	生徒間の意見交換 【III】 新しい見方が出た際に自分の意見を再度見返す【III】

	<p>見せ合う形で共有、②ではグループになってクイズ形式で共有を行う。</p> <p>グループ毎の共有が進んだら、それぞれのグループ毎に全体で共有したい案を生徒に出してもらい、MetaMojiを通して全体共有を行う。</p>	<p>自分たちで考えたピクトグラム案だけでなく、ほかのグループが考えたピクトグラム案を聞くことで新しい視点を得る。</p>	
<p>まとめ (5分)</p>	<p>情報デザインはどのような意味をもって成り立っているのかとそのため構成要素について改めて簡潔にまとめて振り返る。</p>	<p>グループワークの際に動かしていた机を元通りにしてsurfaceを閉じる。</p> <p>伝えたい情報を相手に正しくわかりやすく伝えるためには、相手のことを考える・思いやる気持ちと思考が大切であることを伝える。</p>	